

令和元年 10月 25日

日光市議会議長 齋藤伸幸様

日光市議会議員 大島 浩

議員派遣報告書

目的 (会議等の名称)	役所を動かす一般質問とは ～進化する自治体をめざして～
会議等の 主催者の名称	地方議会総合研究所
場 所	名称等：アットビジネスセンター池袋駅前 別館 住 所：東京都豊島区東池袋 1-6-4
期 間	令和元年7月17日(水)
会議等の内容	別紙資料のとおり
会議等の 所感・成果等	<p>私は過去に2回の一般質問をさせていただきましたが、なかなかうまくいかない部分があり、このセミナーを受講し今まで自分ができなかったこと、それから何か新しく気付くことがないかと参加しました。今回の講師の先生は定野司氏という方ですが、この方は現職の足立区教育長であります。初めはなぜ教育長が一般質問のセミナーをするのかと思いましたが、一般職からの教育長のため、それまでの職員時代には相当な数の答弁書を作成し、様々な苦労を経験して今の職についておられるということでした。</p> <p>今回のテーマである「役所を動かす一般質問とは」ですが、まずはご自身が職員時代に経験してきた行政での苦労</p>

や、足立区独自の取り組みなどをかなりの時間を割いて説明していただきました。

「仕事（仕えること）を私事（わたくしごと）にかえよう」と、職員の意識・心構えを行政の立場から変えていく足立区の取り組みの一環を披露していただき、それから本題に移っていったわけですが、職員の意識や気持ちをよく理解して話を進めていました。

まず一般質問とは議員が一人でできる政治活動であること、何でも質問すればいいものではなく、自分のビジョンを持ち、どういう趣旨で質問するのか通告し、責任をもって答弁を引き出し、行政を動かすことなど最後に議会と行政の関係についてもこんなことを言っていました。

「私たちの仕事は法律を守ることではない、法律を使って住民を守ること、行政がしたいことも議会の力は追い風になる。行政が困っているとき、議会が力になる。」

議会と行政と住民との関係性もこの一般質問のセミナーは大変勉強になりました。